

体裁主義と自己肯定感が就職活動に与える影響について

三宅 勇輝^a、中込 昂佑^b、楠見朋也^c

要約

本稿では、就職活動に着目し、「体裁主義の度合いが強い人ほど企業のネームバリューを重視し、それゆえ大手の企業への入社を希望する。また自己肯定感の度合いが強い人ほど、自らのやりたいこと、裁量を重視し、ベンチャー企業への入社や起業を志す」という研究仮説を立てた。そこで、Google Form でアンケートを作成し、LINE・Twitter等のSNSやそれに類するツールを用いて拡散し、51件の有効回答を得た。アンケート結果を集計し、回帰分析を行ったところ、「体裁主義の世界観を強く持つ人は、ネームバリューを重視するため、大手の企業を志望しやすく、自己肯定感の強い人ほど、自らのやりたいことを重視し、ベンチャー企業への入社を志す」という研究仮説については、整合的で有意な結果を得ることができた。

JEL 分類番号： D9

キーワード：体裁主義, 就職活動, 自己肯定感

^a 三宅勇輝, 慶應義塾大学 yukimiyake1205@gmail.com

^b 中込昂佑, 慶應義塾大学 n-kousuke.trft.0121@keio.jp

^c 楠見朋也, 慶應義塾大学 ktomoya@keio.jp

1. はじめに

ほとんどの人が一度は経験する就職活動。多くの人は人生の転機となる選択を迫られることになる。人はどのように自らが身を置く環境を選ぶのだろうか。給料や会社のネーム、仕事内容や与えられる裁量など、重視する観点は人によって異なる。ここには、その人の持つ世界観が影響を与えると考えられる。

就職活動の際重視する観点として、仕事の内容や与えられる裁量、その企業のネームの大きさ、給料や福利厚生が主として挙げられるが、我々日本人、特に新卒と言われる大学生世代は、人からどう見られるか、どう見られたいかを重視してネームの大きな企業を望むか否か、また自分のやりたいこと、やれることを信じて裁量や内容を重視することができるか、が就職先を選択する際の大きな分岐点になると考えた。給料や福利厚生は上記を選んだ後でも考慮の余地があり、一番初めに選択することになるのが上で挙げたポイントであるだろう。

多くの日本人は意識的でなくても大きなネームを望み、やりたいことがあっても自分に自信を持たずに裁量や仕事内容を後回しにしているのではないだろうか。また大きなネームを望む理由としては、日本人の危険回避選好も考える必要がある。給料の大きな上下動や失業に対する収入に関するリスク嫌悪性も就職に大きな影響を与えると考えられる。

そこで我々は、物事、事象の内容、中身よりも外見、見てくれを重視する体裁主義と、自らに自信を持ち、自らを価値のある存在だと考える自己肯定感の強弱が就職先の業種、また就職活動の際に重視するポイントを選択する行動に影響を与えると考えた。

2. 研究仮説

本稿においては、体裁主義を「中身より外見を重視する世界観、自己肯定感を「自らを肯定する感覚」と定義する。また、世界観について、Hiebert (2008)より「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質についての認識、感情、判断に関する、基礎的な仮定と枠組み」と定義した(訳文、大垣・田中 (2014), p194)。

イントロダクションでも述べた通り、体裁主義の度合いが強い人ほど他者や社会からどう見られるかを気にするため、企業のネームバリューを重視し、その結果大手の企業への入社を希望する傾向にあると考えた。また、自己肯定感の強い人ほど、自ら

のやりたいことや、自分に与えられる裁量を重視し、ベンチャー企業への入社や起業を志す傾向があるのではないかと考え、これら二つを研究仮説として設定した。

3. 研究方法

研究方法として、アンケート調査を行った。Google Form でアンケートを作成し、LINE・Twitter 等の SNS やそれに類するツールを用いて知人に拡散し、51 件の有効回答を得た。

アンケート内容については付録に記載する。質問 2、8、9 は就活の際にどのような経済行動を取るのかを測る質問である。具体的には、質問 2 においてネームバリューへの WTP を測り、質問 8 では就活の際に重視する要素（ネームバリュー、仕事内容、給料、裁量、キャリア）の順位を問う、質問 9 では実際の業界（日系大手、外資系、ベンチャー、起業）の順位を問うことで測った。質問 6、7 は世界観を測る質問であり、顔、ネームバリューを重視する人ほど体裁を重視し、性格、やりたいことを重視する人ほど中身を重視すると考えた。質問 3~5 は自己肯定感を測る質問で、「非常に～」を選ぶほど自己肯定感が高く、「全く～」を選ぶほど自己肯定感が低い。加えて質問 1 は男女間の違いを測るための質問、質問 10 は危険回避を測る質問である。

体裁主義、自己肯定感二つの世界観それぞれの独立した経済活動への影響を調べるため、体裁主義の度合いを測る質問 7 を説明変数 1、自己肯定感の度合いを測る質問 3~5 の合計値を説明変数 2 とした。加えて、質問 8、9 の経済行動に関する質問において、重視する順位に応じた点数（1~4）を振り、9 つの項目ごとの点数を被説明変数とし、質問 8 の項目について上からそれぞれ 1~5、質問 9 の項目について上から 6~9 の番号を振った。2 つの説明変数と、9 つの被説明変数との重回帰分析を行い、さらに危険回避、男女のダミー変数を用いた重回帰分析を行った。

4. 研究結果

二つの説明変数と、それぞれの被説明変数との重回帰分析において、結果を表にし、以下にまとめる。

〈表1〉世界観に関する記述統計量

| | 説明変数1(体裁主義) | 説明変数2(自己肯定感) |
|------|-------------|--------------|
| 平均値 | 46.96078431 | 7.607843137 |
| 標準偏差 | 21.78501084 | 1.482954541 |
| 最大値 | 12 | 90 |
| 最小値 | 5 | 0 |

〈表2〉経済行動に関する記述統計量

| | 日系大手 | 外資 | ベンチャー | 起業 | ネームバリュー | 仕事内容 | 給料 | 裁量 | キャリア |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 平均値 | 2.921568627 | 2.607843137 | 2.31372549 | 1.274509804 | 2.62745098 | 4 | 3.862745098 | 1.725490196 | 2.725490196 |
| 標準偏差 | 1.218213692 | 1.10397555 | 1.146010917 | 1.189470658 | 1.220105819 | 0.990147543 | 1.102930283 | 1.08606921 | 1.329579491 |
| 最大値 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 最小値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

〈表3〉重回帰分析結果

| | 被説明変数 | 説明変数1 (体裁主義) | | 説明変数2 (自己肯定感) | |
|-----------|-------------|--------------|---------|---------------|---------|
| | | 係数 | P値 | 係数 | P値 |
| 実際の業界の選択 | 6 (日系大手) | 0.0207** | 0.01004 | -0.08003 | 0.48478 |
| | 9 (起業) | -0.018** | 0.02561 | 0.00255 | 0.98239 |
| | 8 (ベンチャー) | -0.0097 | 0.19926 | 0.1990* | 0.07525 |
| 重視する要素の選択 | 1 (ネームバリュー) | 0.0256*** | 0.00095 | -0.11007 | 0.30891 |
| | 2 (仕事内容) | -0.0157** | 0.0164 | 0.08908 | 0.34090 |
| | 3 (給料) | 0.0250*** | 0.00057 | 0.07158 | 0.47528 |
| | 4 (裁量) | -0.0152** | 0.04027 | -0.01126 | 0.91590 |
| | 5 (キャリアアップ) | -0.018** | 0.04861 | -0.02375 | 0.85625 |

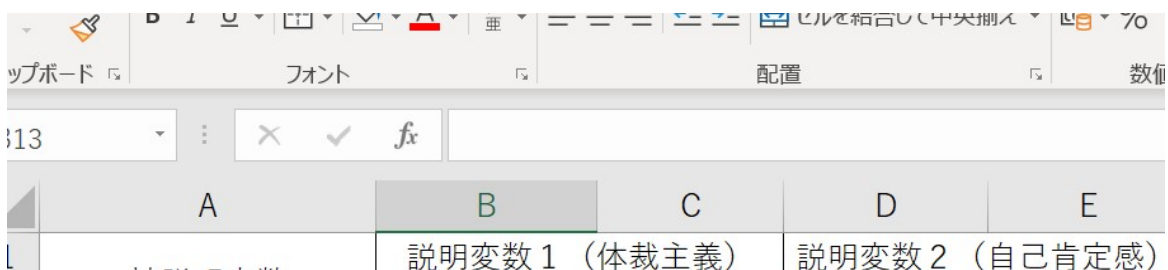
続いて、ダミー変数を用いた重回帰分析結果をいかにまとめる。上の回帰分析結果について考察をさらに深めるために、危機回避、男女をダミーとして重回帰分析を行った。「半々の確率で2倍になるか、～%減少する。」を1、「確実に0.5%増加。」を0としてダミー変数とし、重回帰分析を行った。

〈表4〉危険回避ダミーを含む重回帰分析結果

| | 被説明変数 | ダミー変数（危険回避度） | | | |
|-----------|------------|--------------|---------|--------------|---------|
| | | 説明変数1（体裁主義） | | 説明変数2（自己肯定感） | |
| | | 係数 | P値 | 係数 | P値 |
| 実際の業界の選択 | 6（日系大手） | 0.0207** | 0.01004 | -0.0837 | 0.48429 |
| | 9（起業） | -0.018** | 0.02561 | 0.0445 | 0.70620 |
| | 8（ベンチャー） | -0.0123 | 0.13269 | 0.2188* | 0.06386 |
| 重視する要素の選択 | 1（ネームバリュー） | 0.0300** | 0.00044 | -0.1102 | 0.33185 |
| | 2（仕事内容） | -0.0159*** | 0.02691 | 0.1067 | 0.28759 |
| | 3（給料） | 0.0192*** | 0.00738 | 0.0106 | 0.91409 |
| | 4（裁量） | -0.0116 | 0.13148 | -0.0013 | 0.99015 |
| | 5（キャリアアップ） | -0.0191** | 0.03390 | 0.0148 | 0.90601 |

同様に、女性を1、男性を0とした女ダミー変数を用い、重回帰分析を行った。

〈表5〉女ダミーを含む重回帰分析結果



| A | B | C | D | E |
|---|-------------|---|--------------|---|
| | 説明変数1（体裁主義） | | 説明変数2（自己肯定感） | |

5.考察

（1）説明変数と説明変数による重回帰分析

結果から、被説明変数である経済行動と説明変数である二つの世界観での重回帰分析において、有意な値が出たものについて考察していく。

まず、就職活動の際に重視する要素と、世界観との関係を見ていく。体裁主義と被説明変数1について、有意に正の相関がみられた。ここから、体裁主義の度合いが高い人

ほど会社のネームバリューを重視するといえる。これは自らの所属する企業について、客観的な評価を考えた時に、そのネームバリューは欠かせないものであるからだと考えられる。

体裁主義と被説明変数2について、有意に負の相関が出た。体裁主義の度合いが強い人は仕事内容をそれほど重視しないといえ、同時に体裁主義の度合いが低い人は仕事内容を重視しているともいえる。考えられる要因として、ネームや給料と異なり、仕事内容に対し客観的にどちらが良いか、といった評価は難しいことが挙げられる。周りからの評価を気にせず、主観的な理由、興味ややりたいことを重視することができる人が、仕事内容を重視するだろう。

体裁主義と被説明変数3である給料の要素について、有意に正の相関が得られた。これはネームと同じように、客観的に比較がしやすい要素であり、体裁主義の度合いが強い人は重視する要素だと考えられる。

体裁主義と被説明変数4について、有意に負の相関が得られた。裁量は客観的に評価しやすく、裁量が大きければ周りからの評価は高いように見えるが、例えばベンチャー企業でいくら裁量を持っていても、体裁主義の強い人にとって客観的な評価は高くない。名の知れた大手の企業で裁量が大きいことに越したことはないが、就職活動の際に重視する要素の優先順位としては低いのではないかと考えられる。逆に体裁主義の度合いが弱い世界観の人であれば、自らの興味や目的を達成しやすいため、裁量の大きさは優先される要素であると言える。

体裁主義と被説明変数5について、有意に負の相関が得られた。キャリアに関しても一見客観的な評価は得やすいように見える。しかし、体裁主義の度合いが高い人にとって、キャリアは就職活動の際に重視する要素としての優先順位は低いと考えられる。まず、キャリアを重視したときに考えられる企業像として、大手の企業はあてはまらない。キャリアアップが簡単ではなく、多くの時間を有するからである。キャリアを重視する人はその権限や発言力に惹かれ、主に自らのやりたいことや目標のために臨むと考えられる。名の知れていない企業においてキャリアがいかに高くても、客観的な評価はそれほど高くはないのだと言えよう。そのため、体裁主義の度合いが高い人はこれを重視しないと考えられる。

上から、体裁主義の度合いが高い人はネームや給料と言った客観的に比較、評価しやすい要素を重視すると考えられる。キャリアや裁量も客観的な評価が見込めるが、ネームや給料の要素と比べると客観的な比較が難しく、彼らが重視する優先順位は低いといえる。

次に実際の業界への興味関心と世界観の関係を見ていく。

一つ目に体裁主義と被説明変数6について、有意に正の相関がみられた。体裁主義の度合いが強い、つまり周りからの評価を重視する世界観をもった人であるほど、日系大手への興味が高いことがいえる。ここから、多くの人は日系大手の企業について、主観的だけではなく、客観的に見ても高く評価していると考えられる。上記の要素でも見たように、ネームと給料を兼ね備えた企業、つまり誰が見ても高く評価してくれる企業、それが日系大手のイメージであるといえる。このことは現代においてもエリート会社員、エリートサラリーマンというワードが一定の存在価値を持っていることからもうかがえる。

二つ目に体裁主義と被説明変数9について、有意に負の相関が得られた。一見起業することは周りからの評価を得やすく、体裁主義が強い人であれば好むのではないかと思われたが、結果は逆であった。これについて、現代日本の世論として、起業はリスクが高く、マイノリティであるというイメージが強く、客観的な評価はそれほど高くないことが影響していると考えられる。また同時に、起業にはその人の目的への強い思いがありそれに対する行動の結果であるため、外からの評価を重視する人よりも、逆に体裁主義の度合いが低い人に多くあてはまるのではないかといえる。

キャリア、裁量の要素と、起業という選択の全てで、世界観と負の相関が得られていることから、キャリアや裁量の要素を重視した際に、実際に選択されると考えられる選択肢が起業であるといえる。

最後にもう一つの世界観として挙げた自己肯定感について、自己肯定感と被説明変数7において優位に正の相関がみられた。自己肯定感が高い人は自らに自信をもってやりたいこと、目標の達成を目指せることから、ベンチャー企業への興味が強いと考えられる。自己肯定感の世界観と被説明変数7以外で有意な結果が得られなかった要因として、自己肯定感が高い人はそれぞれが持つ、自らが信じる要素を重視し、就職活動を行うことが挙げられる。つまり自己肯定感の強弱は、重視する要素の選択に影響を及ぼすのではなく、自らが重視する要素に対して強く自信を持つことができるか否かを決定するのだと考えられる。

(2) ダミー変数を用いた重回帰分析

上の重回帰分析で有意な結果が得られた被説明変数について、考察を深めるため危険回避と男女のダミー変数を用いた重回帰分析を行った。

まず、危険回避度を表すダミー変数を用いた重回帰分析では、被説明変数4である裁量以外の被説明変数について有意な差は認められず、危険回避を統御しても世界観と被説明変数の関係は頑健性をもつといえる。

唯一、裁量について、ダミー変数を用いた時、P値は大きく増加し、係数は減少している。つまり、危険回避をしない人ほど裁量を重視しないといえる。

次に女ダミーについて、裁量との重回帰分析で有意でない結果がえられ、係数はマイナスの値を示した。ここから、女性のほうが裁量の要素を重視しなかったことが分かる。ここまで体裁主義と裁量は負の相関があり、体裁主義の人ほど裁量は重視しなかった。女性の場合は体裁主義の強弱ではなく、他の要因が裁量を重視させないと考えた。例えば、結婚をして退職する、寿退社の存在である。いずれ結婚して子育てのために退職するのであれば、裁量を重視する必要は男性比べ少ないと言える。女性の社会進出が叫ばれその風潮があると言えど、寿退社の可能性は多くの女性にあり無視できない要因の一つと言える。同様に、未だ女性の社会における重役のポストが少ないことも挙げられるだろう。裁量を望もうにも現実味がないと考える女性は少なくないのではないか。このような理由により、女性は裁量を重視しなかったと考えた。

また、給料との重回帰分析において、女性ダミー変数と体裁主義の度合いを表す変数を掛け合わせた変数1xと有意でない結果が得られた。係数はマイナスの値であり、女性は体裁主義と給料の関係が弱いことが分かる。結果より、体裁主義の度合いが強いほど給料を重視する関係が見られたが、女性の場合その関係が弱い。これに関しても上記の裁量の要素と同様に、寿退社の要因が関係していると考えられる。つまり給料を重視しても、あまり意味をなさない可能性が女性にはあるということだ。このため女性は男性に比べ、体裁主義の度合いが強くとも給料をそれほど重視しなかったと考えられる。

6.結論

上記より、体裁主義の度合いが強い人ほどネームや給料といった要素を重視して大手企業への入社を望み、また、自己肯定感の強い人ほど、自らのやりたいことや与えられる裁量を重視してベンチャー企業を志すという結果が得られた。

付録

大垣昌夫研究会 3 班アンケート

1. あなたの性別をお答えください

男性

女性

その他

2. 全く無名だが年収 1000 万稼げる企業から内定をもらったとします。ここで、皆が羨む超大手企業から内定を貰ったとして、最低年収いくらならそこに就職しますか？(ネームバリュー以外の条件は同じとします)

3. 自分は他者の期待に影響されないと思いますか？

非常にそう思う

そう思う

そう思わない

全くそう思わない

4. 失敗しても他者や環境のせいにせず、自分の判断に責任を持てますか？

非常に持てる

持てる

持てない

全く持てない

5. 短所を隠したり、自分を誇示しなくても不安になったりせず、ありのままの自分を大切にできますか？

非常にできる

できる

できない

全くできない

6. 就活の際、ネームバリューの高さという面と自分がやりたいことという面のどちらをどの程度重視して企業を選びますか。合計して 100%になるように割り振ってください(例 ネームバリュー50%, やりたいこと 50%なら 50,50)

7. 恋人を作る際、顔と中身のどちらをどの程度重視しますか。合計して 100%になるように数字を割り振ってください(例 顔 50%, 性格 50%なら 50,50)

- 8(1)就職の際に一番重視する要素は何ですか

ネームバリュー

仕事内容

給料

裁量

キャリアアップ

8(2)就職の際に2番目に重視する要素は何ですか

ネームバリュー

仕事内容

給料

裁量

キャリアアップ

8(3)就職の際に3番目に重視する要素は何ですか

ネームバリュー

仕事内容

給料

裁量

キャリアアップ

8(4)就職の際に4番目に重視する要素は何ですか

ネームバリュー

仕事内容

給料

裁量

キャリアアップ

9(1)あなたが一番に希望する職種はなんですか。

日系大手

外資系

ベンチャー

起業

その他

9(2)あなたが2番目に希望する職種はなんですか。

日系大手

外資系

ベンチャー

起業

その他

9(3)あなたが3番目に希望する職種はなんですか。

日系大手

外資系

ベンチャー

起業

その他

9(4)あなたが4番目に希望する職種はなんですか。

日系大手

外資系

ベンチャー

起業

その他

9(1)～(4)の質問でその他を選んだ方は具体的な内容も記入してください。

10(1)仕事の月給の受け取り方法として、以下の選択肢「A」または「B」のどちらがあなたにとって望ましい でしょうか。どちらの選択肢も仕事の内容は同じとします。また、あなたが学生や主婦等で収入 を得ていない場合は、あなたの収入が毎月の支出と同じであると仮定して回答してください。以下の7つそれぞれについて、どちらか好きな方を選んで○をつけてください。

A: 半々の確率で 2 倍になるか、60%減少する

B: 確実に 0.5%増加

A 半々の確率で 2 倍になるか、50%の確率で減少する

B: 確実に 0.5%増加

A 半々の確率で 2 倍になるか、45%の確率で減少する

B: 確実に 0.5%増加

A 半々の確率で2倍になるか、30%の確率で減少する

B: 確実に 0.5%増加

A 半々の確率で2倍になるか、10%の確率で減少する

B: 確実に 0.5%増加

A 半々の確率で2倍になるか、5%の確率で減少する

B: 確実に 0.5%増加

A 半々の確率で2倍になるか、1%の確率で減少する

B: 確実に 0.5%増加

引用文献

Hiebert, P.G. (2008) Transforming Worldviews: An Anthropological Understanding of How People Change, Baker Academic.

大垣昌夫・田中沙織, 2014, 行動経済学—伝統的経済学との統合による新しい経済学を目指して, 有斐閣, 東京.